

## 信州大学農学部附属演習林における 2021 年のトピック

令和 3 年度に開講を予定していた公開森林実習は、新型コロナウイルス新規感染者数の増大により学外からの学生受け入れを全て中止した。学外の教育・研究利用については、「AFC 利用における感染拡大防止対策」を提出していただいた上で受け入れを行った。演習林の学外利用は 8 月に一時的にゼロ件となったが、10 月に緊急事態宣言が解除された後、再び県外からの来訪者を迎えた。学生宿舎の宿泊利用は昨年から引き続き本年度も年度末までお断りしている。宿舎利用中止の期間に、手良沢山学生宿舎の補修を行っている。

木材価格の低迷を懸念して令和 2 年度は中止した請負間伐を、1 年遅れで本年発注した。今年 はウッドショックの影響で木材の取引価格が高騰しており、11 月 17 日に伊那木材センターで開催された記念市では年度当初の予想を大きく上回る木材販売収入を得た。

昨年、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、学生実習による植林を実施出来なかった。準備していた 800 本のカラマツ苗木は苗畑に仮植し、翌年の植栽に用いることとした。しかしながら、今年 3 月の記録的な高温の影響を受け、農学部構内で仮植していた苗木は例年より 1 ヶ月ほど早く芽吹きを始めてしまい、4 月下旬に植栽したカラマツ苗木は秋には 30%近くが枯死してしまった。枯死を免れた苗木も生育状況が芳しくないことから、本年植栽したカラマツは来年すべて抜き去り、新たに苗木を購入して植えなおすことにした。

